

第4章 みどりあふれる持続可能なエコタウン

エネルギーや資源を多量に消費する浪費型の生活を見直し、人と自然がともに生きる、みどりあふれる持続可能なまちをめざします。

◆ 施策体系

第1節 低炭素社会

- 4-1-1 地球温暖化緩和策の推進
- 4-1-2 エネルギー使用に伴う環境負荷の低減
- 4-1-3 気候変動の影響への適応

第2節 みどり・生物

- 4-2-1 生物多様性への理解の推進
- 4-2-2 人と自然との絆の強化
- 4-2-3 みどりと水の保全

第3節 循環型社会

- 4-3-1 『もったいない』社会の形成
- 4-3-2 ごみ処理の低炭素化の推進
- 4-3-3 ごみの適正な処理の推進

第4節 大気・水環境等

- 4-4-1 大気環境の保全
- 4-4-2 水環境等の保全
- 4-4-3 土壌・地盤環境の保全
- 4-4-4 生活環境対策の推進
- 4-4-5 化学物質の環境リスクの管理

第1節 低炭素社会

◆◆◆評価指標◆◆◆

市域における温室効果ガス排出量の削減率			マチごとエコタウン推進課					
	H28		R元	R2	R3	R4	R5	R6
現状値	4.8	目標値	7.6	9.3	11.0	12.7	14.4	16.1
単位	%	実績値	15.1	24.9	30.4	26.9	未確定	-

地球温暖化対策の効果を示す指標です。
 現状:「所沢市地球温暖化対策実行計画(区域施策編)」に掲げる目標で、平成25年度を基準年度とした温室効果ガス排出量の平成28年度の削減割合です。
 目標:令和6年度までに16.1%の削減をめざすものです。

4-1-1 地球温暖化緩和策の推進

(千円)

最優先	「事業者から始まるゼロカーボンシティ宣言」事業 契約課		新規	R6	98
			期間:R6	R7	-
	概要	市内に本支店を有する所沢市競争入札参加資格者名簿登録事業者に、環境に関するアンケート調査を実施し実態を把握するとともに、自らの環境問題への取組を促すことで、本市が掲げるゼロカーボンシティの実現に寄与するものである。		R8	-
			R9	-	
最優先	まちセン発「ゼロカーボンシティ推進」啓発事業 松井まちづくりセンター		新規	R6	40
			期間:R6~	R7	40
	概要	地域の身近な拠点であるまちづくりセンターにおいて、環境に関する講座等の開催及び周知啓発等を行うことにより、市民が環境問題を身近な問題として捉える機会をつくるとともに、ゼロカーボンシティ実現の推進を図るものである。		R8	40
			R9	40	
最優先	まちセン発「ゼロカーボンシティ推進」啓発事業 富岡まちづくりセンター		新規	R6	40
			期間:R6~	R7	40
	概要	地域の身近な拠点であるまちづくりセンターにおいて、環境に関する講座等の開催及び周知啓発等を行うことにより、市民が環境問題を身近な問題として捉える機会をつくるとともに、ゼロカーボンシティ実現の推進を図るものである。		R8	40
			R9	40	
最優先	まちセン発「ゼロカーボンシティ推進」啓発事業 小手指まちづくりセンター		新規	R6	40
			期間:R6~	R7	40
	概要	地域の身近な拠点であるまちづくりセンターにおいて、環境に関する講座等の開催及び周知啓発等を行うことにより、市民が環境問題を身近な問題として捉える機会をつくるとともに、ゼロカーボンシティ実現の推進を図るものである。		R8	40
			R9	40	
最優先	まちセン発「ゼロカーボンシティ推進」啓発事業 山口まちづくりセンター		新規	R6	40
			期間:R6~	R7	40
	概要	地域の身近な拠点であるまちづくりセンターにおいて、環境に関する講座等の開催及び周知啓発等を行うことにより、市民が環境問題を身近な問題として捉える機会をつくるとともに、ゼロカーボンシティ実現の推進を図るものである。		R8	40
			R9	40	

最優先	まちセン発「ゼロカーボンシティ推進」啓発事業	吾妻まちづくりセンター	新規	R6	40	
			期間:R6~	R7	40	
	概要	地域の身近な拠点であるまちづくりセンターにおいて、環境に関する講座等の開催及び周知啓発等を行うことにより、市民が環境問題を身近な問題として捉える機会をつくるとともに、ゼロカーボンシティ実現の推進を図るものである。			R8	40
				R9	40	
最優先	まちセン発「ゼロカーボンシティ推進」啓発事業	柳瀬まちづくりセンター	新規	R6	40	
			期間:R6~	R7	40	
	概要	地域の身近な拠点であるまちづくりセンターにおいて、環境に関する講座等の開催及び周知啓発等を行うことにより、市民が環境問題を身近な問題として捉える機会をつくるとともに、ゼロカーボンシティ実現の推進を図るものである。			R8	40
				R9	40	
最優先	まちセン発「ゼロカーボンシティ推進」啓発事業	三ヶ島まちづくりセンター	新規	R6	40	
			期間:R6~	R7	40	
	概要	地域の身近な拠点であるまちづくりセンターにおいて、環境に関する講座等の開催及び周知啓発等を行うことにより、市民が環境問題を身近な問題として捉える機会をつくるとともに、ゼロカーボンシティ実現の推進を図るものである。			R8	40
				R9	40	
最優先	まちセン発「ゼロカーボンシティ推進」啓発事業	新所沢まちづくりセンター	新規	R6	40	
			期間:R6~	R7	40	
	概要	地域の身近な拠点であるまちづくりセンターにおいて、環境に関する講座等の開催及び周知啓発等を行うことにより、市民が環境問題を身近な問題として捉える機会をつくるとともに、ゼロカーボンシティ実現の推進を図るものである。			R8	40
				R9	40	
最優先	まちセン発「ゼロカーボンシティ推進」啓発事業	新所沢東まちづくりセンター	新規	R6	40	
			期間:R6~	R7	40	
	概要	地域の身近な拠点であるまちづくりセンターにおいて、環境に関する講座等の開催及び周知啓発等を行うことにより、市民が環境問題を身近な問題として捉える機会をつくるとともに、ゼロカーボンシティ実現の推進を図るものである。			R8	40
				R9	40	
最優先	まちセン発「ゼロカーボンシティ推進」啓発事業	所沢まちづくりセンター	新規	R6	73	
			期間:R6~	R7	73	
	概要	地域の身近な拠点であるまちづくりセンターにおいて、環境に関する講座等の開催及び周知啓発等を行うことにより、市民が環境問題を身近な問題として捉える機会をつくるとともに、ゼロカーボンシティ実現の推進を図るものである。			R8	73
				R9	73	
最優先	まちセン発「ゼロカーボンシティ推進」啓発事業	並木まちづくりセンター	新規	R6	120	
			期間:R6~	R7	120	
	概要	地域の身近な拠点であるまちづくりセンターにおいて、環境に関する講座等の開催及び周知啓発等を行うことにより、市民が環境問題を身近な問題として捉える機会をつくるとともに、ゼロカーボンシティ実現の推進を図るものである。			R8	120
				R9	120	
最優先	所沢市からはじめるマチごとゼロカーボン運動事業	マチごとエコタウン推進課	既存	R6	4,312	
			期間:R5~	R7	-	
	概要	2050年のゼロカーボンシティ実現に向けて、市、事業者、市民が一体となった取組を進めるため、事業者や市民を巻き込んだ事業推進のきっかけづくりとすることを目的として実施するものである。			R8	-
				R9	-	
最優先	環境対策推進事業(低公害車導入)	経営課	既存	R6	4,782	
			期間:R3~	R7	3,231	
	概要	脱炭素社会の構築に向け、次世代自動車(HV、EV)を導入することにより、温室効果ガスの排出を削減し、本市が掲げるゼロカーボンシティの実現に寄与するものである。併せて、EVの導入に伴い、上下水道局庁舎内において、充電設備の拡充を図る。			R8	3,231
				R9	3,231	

優先	低公害車導入事業	管財課	期間:H13~	既存	R6	10,489
				R7	11,845	
	概要	所沢市マチごとエコタウン推進計画および埼玉県地球温暖化対策推進条例に基づき、地球温暖化緩和策を推進するため、ハイブリッド車等を導入することにより、温室効果ガスの排出を削減し、本市が掲げるゼロカーボンシティの実現に寄与するものである。	R8	11,845		
			R9	11,845		
優先	福祉施設電気自動車等導入補助事業	福祉総務課	期間:R5~	既存	R6	2,040
				R7	2,040	
	概要	市内の福祉施設を対象に環境への負荷の低い電気自動車等の普及促進を図るため、電気自動車等の導入に係る経費の一部を助成することにより、本市が掲げるゼロカーボンシティの実現に寄与するものである。	R8	2,040		
			R9	2,040		

4-1-2 エネルギー使用に伴う環境負荷の低減 (千円)

最優先	公共施設太陽光発電設備設置事業	マチごとエコタウン 推進課	期間:R5~R16	既存	R6	47,849
				R7	95,697	
	概要	再生可能エネルギーの創出、電力使用に伴う二酸化炭素排出量削減及び災害時のエネルギー供給の機能を発揮させることを目的とし、公共施設に太陽光発電設備を設計・施工・維持管理業務を含めた包括リース方式により設置するものである。	R8	95,697		
			R9	95,697		
最優先	再生可能エネルギー普及推進事業	マチごとエコタウン 推進課	期間:H30~	指標 既存	R6	20,380
				R7	16,075	
	概要	脱炭素社会の構築に向け、市域の再生可能エネルギーの利用を推進するものであり、メガソーラー所沢やフロートソーラー所沢等の管理運営等を行うものである。	R8	15,822		
			R9	13,036		
最優先	ところバスEV導入事業	都市計画課	期間:R5~	既存	R6	5,782
				R7	17,980	
	概要	現在、ところバスは予備車を含め全12台の車両で運行しており、バスの運行に伴う温室効果ガスを削減するため、電気バスを1台導入するものである。	R8	17,980		
			R9	17,980		
最優先	小中学校校舎照明LED化事業	教育施設課	期間:R5~	既存	R6	377,619
				R7	381,024	
	概要	校舎に設置されている既存照明のLED化を実施し、二酸化炭素の排出削減及び光熱費等の維持管理費の縮減を図ることにより、本市が掲げるゼロカーボンシティの実現に寄与するものである。	R8	385,767		
			R9	381,024		
優先	所沢市民文化センター通路等照明器具LED化整備事業	文化芸術振興課	期間:R6	新規	R6	4,037
				R7	-	
	概要	所沢市民文化センターの通路等に設置されている照明灯について、LED照明灯に改修するものである。LED化による維持管理費の削減及び消費電力量の抑制による二酸化炭素の排出削減が見込まれ、ゼロカーボンシティの実現に寄与するものである。	R8	-		
			R9	-		
優先	マチごとエコタウン認定事業	マチごとエコタウン 推進課	期間:R6~	新規	R6	112
				R7	57	
	概要	一定の要件を満たした二酸化炭素排出量の少ない街区をモデル街区として認定することで、脱炭素化を取り入れた街区の開発を促進するものである。開発事業者等に対し市ホームページ等でのPR等のインセンティブを付与することで認定の取得を促進する。	R8	57		
			R9	57		
重要	小手指公民館太陽光発電設備設置事業	社会教育課		既存	R6	121,440

4-1-3 気候変動の影響への適応

(千円)

最優先	概要	所沢市総合治水対策事業(清柳橋改築事業) 道路建設課	既存	R6	155,000	
			期間:H30~R7	R7	80,000	
					R8	-
					R9	-

◆◆◆事業目標

4-1-1 市の事務事業から発生する温室効果ガスの削減率		マチごとエコタウン推進課						
	H28		R元	R2	R3	R4	R5	R6
現状値	15.2	目標値	20.2	21.9	23.6	25.2	26.9	28.6
単位	%	実績値	67.4	68.1	69.0	70.7	未確定	-

市の事務事業から発生する温室効果ガスに関して、市の率先取組による削減状況を示す指標です。
 現状:平成28年度における、平成25年度基準年度とした温室効果ガスの削減割合です。
 目標:令和6年度までに28.6%をめざすものです。

4-1-2 市域における再生可能エネルギー設備の総出力		マチごとエコタウン推進課						
	H28		R元	R2	R3	R4	R5	R6
現状値	33.6	目標値	36.6	37.8	39.0	40.2	41.4	42.6
単位	MW	実績値	37.4	39.1	41.0	43.1	未確定	-

市内に設置されている太陽光発電システム等の再生可能エネルギー設備の総出力を示す指標です。(国の統計値を用いた推計値)
 現状:平成28年度末の、資源エネルギー庁が公表している「B表 市町村別認定・導入量」における再生可能エネルギー設備の導入容量です。
 目標:令和6年度までに42.6MWをめざすものです。

4-1-3 雨水流出抑制指導による施設の設置割合		河川課						
	H29		R元	R2	R3	R4	R5	R6
現状値	100	目標値	100	100	100	100	100	100
単位	%	実績値	100	100	100	100	未確定	-

河川・水路の氾濫防止や地下水のかん養を図る取り組み状況を示す指標です。
 現状:平成29年度の開発時における雨水流出抑制指導により、施設を設置した事業者の割合です。
 目標:毎年度100%をめざすものです。



メガソーラー所沢(とことこソーラー北野)

第2節 みどり・生物

◆◆◆評価指標◆◆◆

新たなみどりの確保量			みどり自然課					
	H29		R元	R2	R3	R4	R5	R6
現状値	55.07	目標値	75.00	80.00	85.00	90.00	95.00	98.00
単位	ha	実績値	86.16	96.83	97.39	105.05	未確定	-

みどりを新たに確保する取り組みの成果を測る指標です。
 現状:平成29年度の「所沢すみどりの基本計画」に規定する地域制緑地を新規指定・拡大をした累計の面積です。
 目標:令和6年度までに98.00haをめざすものです。

4-2-1 生物多様性への理解の推進

(千円)

重要	生きものとみどり啓発事業	みどり自然課	指標	既存	R6	3,064
----	--------------	--------	----	----	----	-------

4-2-2 人と自然との絆の強化

(千円)

重要	みどりのパートナー活動推進事業	みどり自然課	指標	既存	R6	7,439
重要	ナラ枯れ被害木等伐採及び植樹補助事業	みどり自然課		既存	R6	9,846

4-2-3 みどりと水の保全

(千円)

最優先	里山保全地域等指定整備事業	みどり自然課	指標	既存	R6	77,105
	概要	市内に残された貴重な緑地を保全し、未来の子どもたちにふるさと所沢のみどりを継承するため、里山保全地域等の指定を行うとともに、相続や開発等の事由により消失のおそれがある緑地の公有地化を行う。	期間:H24~		R7	未定
					R8	未定
最優先	水田景観保全事業	みどり自然課		既存	R6	1,970
	概要	上山口堀口天満天神社周辺里山保全地域内に残されている貴重な水田を保全することで、良好な都市環境の維持と多様な生物の生息・生育空間の確保を図るとともに、豊かな里山の景観を引き継いでいく。	期間:R3~		R7	未定
					R8	未定
最優先	三ヶ島地区公園築造事業	公園課		新規	R6	30,998
	概要	これまで公園が1か所のみであった三ヶ島地内に、新たな公園を築造するものである。今般、所有者の協力により無償借地での土地の確保が可能となったことから、整備を行うものである。	期間:R6		R7	-
					R8	-
最優先	北秋津・上安松地区都市緑地保全事業	公園課		既存	R6	222,962
	概要	所沢すみどりの基本計画において、みどりの保全を重点的に推進すると位置づけられている北秋津周辺保全配慮地区について、まとまりのある貴重なみどりを保全するため、用地の取得及び保全管理を行うものである。	期間:R3~		R7	338,926
					R8	186,470
優先	砂川堀水辺保全・散策路整備事業	河川課		既存	R6	16,754
	概要	「水とみどりがつくるネットワーク」を構成する河川の一つである砂川堀の貴重な水とみどりを保全し、その自然を知り親しめる散策路を整備するものである。	期間:R元~		R7	21,543
					R8	21,300
					R9	21,300

重要	みどりの基本計画推進事業	みどり自然課		既存	R6	284
重要	緑地管理整備推進事業	みどり自然課		既存	R6	208,048
重要	保存樹木等指定促進事業	みどり自然課		既存	R6	3,305
重要	みどりの創出事業	みどり自然課		既存	R6	1,007
重要	ふるさとの川再生事業	河川課	指標	既存	R6	300
重要	東川桜舞う遊歩道事業(COOL JAPAN FOREST構想事業)	河川課		既存	R6	6,713

◆◆◆事業目標

4-2-1 みどりとふれあうイベントの参加者数		みどり自然課						
	H29		R元	R2	R3	R4	R5	R6
現状値	1,767	目標値	2,000	2,000	2,000	2,000	2,000	2,000
単位	人	実績値	1,855	実施なし	実施なし	1,363	1,101	-
<p>みどりとふれあうイベントの参加者数を示す指標です。 現 状:平成 29 年度のみどりのふれあいウォークの参加者数です。 目 標:毎年度 2,000 人以上をめざすものです。</p>								



4-2-2 みどりのパートナーの登録者数		みどり自然課						
	H29		R元	R2	R3	R4	R5	R6
現状値	1,368	目標値	1,395	1,400	1,405	1,410	1,415	1,420
単位	人	実績値	1,410	1,500	1,501	1,517	未確定	-
<p>みどりの保全・創出を目的とした「みどりのパートナー制度」の登録者数を示す指標です。 現状:平成 29 年度のみどりのパートナー制度に登録した個人及び団体の構成員の人数です。 目標:令和 6 年度までに 1,420 人をめざすものです。</p>								



4-2-3 水辺のサポーター・ふるさとの川再生事業団体数		河川課						
	H29		R元	R2	R3	R4	R5	R6
現状値	8	目標値	8	8	9	9	9	10
単位	団体	実績値	8	9	9	9	8	-
<p>河川・水路機能充実に対する取り組み状況を示す指標です。 現状:平成 29 年度における河川の清掃等のボランティア活動を行う市民団体数です。 目標:令和 6 年度までに 10 団体をめざすものです。</p>								



4-2-3 都市公園の整備面積		公園課						
	H29		R元	R2	R3	R4	R5	R6
現状値	141.19	目標値	142.41	143.14	144.22	145.24	146.16	148.02
単位	ha	実績値	142.12	142.49	146.10	146.10	未確定	-
<p>公園の整備状況を示す指標です。 現状:平成 29 年度末における都市公園の面積です。 目標:令和 6 年度末までに整備面積 148.02haをめざすものです。</p>								



第3節 循環型社会

◆◆◆評価指標◆◆◆

市民1人1日あたりのごみの排出量			資源循環推進課					
	H29		R元	R2	R3	R4	R5	R6
現状値	580.0	目標値	579.3	578.5	577.8	577.1	576.4	575.6
単位	g/人・日	実績値	583.1	592.7	574.0	557.1	未確定	-

市民1人1日あたりのごみの排出量を測る指標です
 現状:平成29年度の年間総ごみ量から、事業活動から出るごみや集団資源回収されたものを除き、市の人口で除して算出した排出量です。
 目標:令和6年度までに575.6g/人・日をめざすものです。

4-3-1 『もったいない』社会の形成

(千円)

重要	事業名	担当課	指標	既存	R6	金額
重要	集団資源回収報償金交付事業	資源循環推進課	指標	既存	R6	70,000
重要	粗大ごみリユース推進事業	資源循環推進課	指標	既存	R6	21,057
重要	もったいないの心推進事業	資源循環推進課		既存	R6	13,831
重要	もったいないの心啓発事業	資源循環推進課		既存	R6	6,768

4-3-2 ごみ処理の低炭素化の推進

(千円)

優先	事業名	担当課	指標	既存	R6	金額
優先	チャレンジ生ごみ減量推進事業	資源循環推進課	指標	既存	R6	5,999
概要	家庭から出る燃やせるごみの約4割と言われる生ごみを減量するため、家庭で簡単にできる生ごみの処理の方法について作り方や管理の方法に係る講習会等を開催する。また生ごみ処理機器を購入した市民に奨励金を交付し、普及啓発を図るものである。		期間:R4~		R7	未定
					R8	未定
					R9	未定

4-3-3 ごみの適正な処理の推進

(千円)

最優先	事業名	担当課	既存	R6	金額
最優先	一般廃棄物減量化方策推進事業	資源循環推進課	既存	R6	9,080
概要	一般廃棄物処理基本計画に基づき、更なるごみの減量や効果的な資源化を推進するため、審議会における審議、市内の動向調査及び情報収集を行うものである。		期間:R3~	R7	未定
				R8	未定
				R9	未定
最優先	第2一般廃棄物最終処分場整備事業	資源循環推進課	既存	R6	4,095,716
概要	北野一般廃棄物最終処分場が平成17年3月末日をもって埋立が終了したため、自区内処理の原則に基づき、市内に新たな一般廃棄物最終処分場を整備するものである。		期間:H11~R7	R7	1,894,044
				R8	-
				R9	-
最優先	第2一般廃棄物最終処分場整備に伴う周辺整備事業	資源循環推進課	既存	R6	151,950
概要	令和7年度の供用開始を目指し整備を進めている第2一般廃棄物最終処分場の周辺地域(大字坂之下地区、大字南永井地区)について、生活環境の向上を図る観点から、都市基盤の整備等を図るものである。		期間:R5~	R7	212,000
				R8	338,500
				R9	201,500
最優先	一般廃棄物処理施設検討事業	資源循環推進課	既存	R6	28,358
概要	西部クリーンセンターが令和14年度以降に施設の更新時期を迎えるため、隣接する入間市とのごみ処理広域化について検討を進めるものである。		期間:R5~	R7	未定
				R8	未定
				R9	未定

最 優 先	衛生センター予防保全型維持管理事業		資源循環推進課		新規	R6	6,413
					期間:R6	R7	-
	概要	計画的な修繕を実施することにより、今後も衛生的かつ安定した水処理を継続するため、現行の衛生センター修繕計画を改定し、機械設備等を含めた適切な施設の維持管理を図るものである。				R8	-
						R9	-

重要	東部クリーンセンター長期包括運営事業	東部クリーンセンター		既存	R6	1,874,189
重要	西部クリーンセンター長期包括運営事業	西部クリーンセンター		既存	R6	1,109,413
重要	ごみ収集事業	収集管理事務所		既存	R6	84,786
重要	ふれあい収集事業	収集管理事務所		既存	R6	1,301
重要	一般廃棄物収集運搬業務委託事業	収集管理事務所		既存	R6	886,710

◆◆◆事業目標

4-3-1 総ごみ量に対するリサイクル率		資源循環推進課						
	H29		R元	R2	R3	R4	R5	R6
現状値	28.9	目標値	29.9	30.4	30.9	31.4	31.9	32.4
単位	%	実績値	29.2	31.0	31.3	30.9	未確定	-

ごみの資源化に対する取り組み状況を示す指標です。
 現状:平成 29 年度における市民・事業者から排出される全ごみ量のうち、紙類、古布類、鉄・アルミなどを資源化させることができた割合です。
 目標:令和 6 年度までに 32.4%をめざすものです。

4-3-2 ごみ焼却発電による場内電気使用量賄率		東部クリーンセンター						
	H29		R元	R2	R3	R4	R5	R6
現状値	73.83	目標値	89.78	100	100	100	100	100
単位	%	実績値	91.91	100	100	100	未確定	-

東部クリーンセンターにおける、ごみ焼却で得られた電気の場内電気使用量に対する割合を示す指標です。
 現状:平成 29 年度の発電機からの電気で賄っている場内電気使用量の割合です。
 目標:令和 2 年度までに 100%をめざすものです。

4-3-3 不法投棄物量		資源循環推進課						
	H29		R元	R2	R3	R4	R5	R6
現状値	26.0	目標値	25.2	24.8	24.4	24.0	23.6	23.2
単位	t	実績値	21.9	12.9	11.5	9.5	未確定	-

市で撤去した不法投棄物量を基に、相対的な不法投棄防止対策に関する取り組みの成果を測る指標です。
 現状:平成 29 年度における、市で撤去した不法投棄物量です。
 目標:令和 6 年度の不法投棄物量において、現状の 1 割以上の削減をめざすものです。

第4節 大気・水環境等

◆◆◆評価指標◆◆◆

大気環境にかかる環境基準の達成率			環境対策課					
	H29		R元	R2	R3	R4	R5	R6
現状値	86.4	目標値	88.6	90.9	93.1	95.4	97.7	100
単位	%	実績値	86.4	86.4	86.4	86.4	未確定	-

大気環境の状況を示す指標です。
 現状:平成29年度における、光化学オキシダントや二酸化窒素等の大気汚染物質に基準を達成している割合です。
 目標:令和6年度までに100%をめざすものです。



4-4-1 大気環境の保全

(千円)

重要	事業名	担当課	指標	既存	R6	金額
重要	大気規制対象事業所検査事業	環境対策課	指標	既存	R6	2,127
重要	大気汚染状況の常時監視事業	環境対策課		既存	R6	24,142
重要	有害大気汚染物質等モニタリング調査事業	環境対策課		既存	R6	5,726

4-4-2 水環境等の保全

(千円)

重要	事業名	担当課	指標	既存	R6	金額
重要	水質規制対象事業所検査事業	環境対策課		既存	R6	1,160
重要	公共用水域等汚濁状況の常時監視事業	環境対策課	指標	既存	R6	6,682
重要	浄化槽整備補助事業	資源循環推進課		既存	R6	6,240
重要	河川・水路維持管理事業	河川課		既存	R6	59,006

4-4-3 土壌・地盤環境の保全

4-4-4 生活環境対策の推進

(千円)

重要	事業名	担当課	指標	既存	R6	金額
重要	公害等苦情相談事業	環境対策課	指標	既存	R6	5,652
重要	「環境美化の日」市内一斉美化清掃活動事業	生活環境課		既存	R6	9,542
重要	環境推進員活動促進事業	生活環境課		既存	R6	12,455
重要	あき地の雑草除去指導事業	生活環境課		既存	R6	1,409
重要	一般家庭生活廃水くみ取り事業	生活環境課		既存	R6	15,048
重要	犬の登録・狂犬病予防注射管理事業	生活環境課		既存	R6	5,200
重要	歩きたばこ等防止啓発事業	生活環境課		既存	R6	1,275

4-4-5 化学物質の環境リスクの管理

(千円)

重要	ダイオキシン類による汚染状況の常時監視事業(大気、水質及び土壌等)	環境対策課	指標	既存	R6	2,331
重要	放射性物質による環境汚染の監視・対処事業	環境対策課	指標	既存	R6	160

◆◆◆事業目標

4-4-1 大気規制対象事業所のばい煙にかかる排出基準適合率		環境対策課						
	H29		R元	R2	R3	R4	R5	R6
現状値	100	目標値	100	100	100	100	100	100
単位	%	実績値	100	100	100	100	未確定	-

大気規制対象事業所のうち、排出基準等に適合した事業所の割合を示す指標です。
 現状:平成 29 年度の大気規制対象事業所のうち、排出基準等に適合した事業所の割合です。
 目標:毎年度 100%達成・維持をめざすものです。

4-4-2 水環境にかかる環境管理目標の達成率		環境対策課						
	H29		R元	R2	R3	R4	R5	R6
現状値	100	目標値	100	100	100	100	100	100
単位	%	実績値	100	100	100	100	未確定	-

生物化学的酸素要求量やカドミウム等の水質汚濁にかかる環境管理目標のうち、目標を達成しているものの割合を示す指標です。
 現状:平成 29 年度の公共用水域の常時監視事業の結果において目標を達成しているものの割合です。
 目標:毎年度 100%達成・維持をめざすものです。

4-4-3 汚染拡散防止率		環境対策課						
	H29		R元	R2	R3	R4	R5	R6
現状値	87	目標値	89	91	93	95	97	100
単位	%	実績値	91	96	96	96	未確定	-

土壌汚染防止のため、対象事業所のうち汚染拡散防止措置等が実施された割合を示す指標です。
 現状:平成 29 年度の土壌汚染が判明した事業のうち、汚染拡散防止措置等が実施されている事業所の割合です。
 目標:令和 6 年度までに 100%をめざすものです。

4-4-4 苦情相談解決率		環境対策課						
	H29		R元	R2	R3	R4	R5	R6
現状値	93.2	目標値	93.5	93.8	94.1	94.4	94.7	95.0
単位	%	実績値	80.9	96.5	99.1	98.7	未確定	-

公害等について寄せられた苦情・相談解決率を示す指標です。
 現状:平成 29 年度の騒音・振動等にかかる苦情相談解決率です。
 目標:令和 6 年度までに 95%をめざすものです。

4-4-5 化学物質排出量

環境対策課

H29			R元	R2	R3	R4	R5	R6
現状値	26.5	目標値	26.2	26.0	25.8	25.6	25.3	25.1
単位	t	実績値	22.6	22.1	16.3	13.4	未確定	-

市域における化学物質排出量を示す指標です。

現状:平成 29 年度に報告があったPRTR 届出データの化学物質排出量です。

目標:令和 6 年度までに現状値の 5%減をめざすものです。



環境美化の日 清掃活動の様子